



もしものためのエンディングノート(中区版)

～ご利用にあたって～

「もしものためのエンディングノート(中区版)」は、あなたが万一の時に備えて、周囲の方に希望を伝えておくノートです。自分の体が思うように動かなくなったり、自分の意思を伝えることが難しくなる前に、好きなことや大事にしたいこと、これからどのように暮らしたいのかを周囲に伝えておくことは、高齢者に限らず、どの世代の人にとっても大切なことです。このノートを書くことで、自分の思いをまとめ、その思いを大切な人と分かち合う機会にさせていただければと思います。

- 対象年齢はありません。どなたでも、今の時点で記入できるところから、書き始めましょう。また、自由に書き直しましょう。
- 記入にあたって、大切な人と話し合うことも大切です。お願いしたい人の名前を記入する場合は、事前にその人の了解を得ておきましょう。
- エンディングノートに記入しただけでは、法的効力はありません。遺言書などの法的な手続きについては、法律の専門家にご相談ください。
- エンディングノートは大切に保管しましょう。万一に備えて信頼のおける人に、保管場所を伝えておきましょう。
- 資産などの詳細や暗証番号を記入する箇所はありません。エンディングノートとは別に書類等を整理しておきましょう。
- ご自身の記入が終わったら、是非、大切なご家族やご友人にもエンディングノートの記入をお勧めください。



中区地域包括ケアシステム

高齢者が自分らしく暮らせるまちに